

9月3日
町の現在と未来について考える
弟子屈中学校で出前講座を実施



講話に集中する生徒たち

北海道開発局
釧路開発建設部
(本田幸一部長)
による出前講座
が9月3日、弟子
屈中学校(小林一
博校長)にて開催
されました。

同校2年生を
対象とした総合的な学習の一環で、町内の農業基盤整備への理解を深めるために企画されたもので、北海道の農業や物流、同局の仕事に関する講話が行われたほか、町職員からも町の取り組みに関するお話がありました。

普段あまり聞く機会のない講話内容に、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

8月28日
広い視野を持つ人材育成を
ふるさと人材育成事業成果報告会



沖縄での体験を報告する大輝さん(左)と明穂さん(右)

ふるさと人材育成事業
成果報告会が8月28
日、町役場で開催されま
した。

同事業は、昨今の国際
化、情報化に対応した広
い視野を持つ人材育成
のため、国内外の研修や

留学などへ助成を行うものです。

第21回沖縄遊YOU塾に参加した小見山明穂さん(弟子屈中学校1年)、大輝さん(弟子屈小学校4年)姉弟は、自分たちで撮影した写真を用い、今回の体験で得たこと、感じたことを報告。岩原教育長は「沖縄で学んだことを弟子屈でも実践してほしい。」と話しました。

9月6日・7日
「森の恵みを食す」をテーマに
アカエゾマツサミットを開催



古谷代表による基調講演の様子

アカエゾマツ
サミット川湯実
行委員会(井出千
種実行委員長)
主催の「第11回
アカエゾマツサ
ミット in 弟子
屈町・川湯」が、9
月6日に川湯ふ
るさと館で、7日に川湯ビジターセンターで開催されました。

初日は日本草木研究所の古谷知華代表による基調講演や、関係者によるパネルディスカッションが、2日目は川湯ビジターセンターの安藤心センター長によるガイドウォークなどが行われ、参加者はアカエゾマツの魅力に引き込まれた様子でした。

9月4日
教職員の資質向上を目指し
教育研究所が第3回研究部会を実施



児童への支援方法を紹介する科教師

町教育研究所
(工藤博之所長)
は9月4日、第3
回研究部会を町
内各小中学校で
実施しました。

町立学校教職
員が9つの研究テーマごとに行っている部会の内「特別支援部会」では、北海道中標津支援学校高等部特別支援教育コーディネーターの朴明良教諭を講師に招き、弟子屈小学校(佐藤義行校長)で講演会を開催しました。講演会では、特性のある児童生徒への対応や進学・就労の支援などについての講話が行われ、参加した教職員は特別支援教育への理解をさらに深めました。

9月9日
引き継いだひまわりが立派に成長
「ひまわりの絆プロジェクト」



ひまわりの前で「はくとん」と記念撮影

認定こども園ま
しゅう(高野龍彦
園長)の園児たちが9
月9日、「ひまわり
の絆プロジェクト」
の一環で育てたひ
まわりを、弟子屈警
察署(鈴木将人署
長)の方々にお披露
目しました。

このプロジェクトは、交通事故で亡くなった男の子が育てていたひまわりを多くの場所で開花させ、命の大切さを伝えていくという取り組みです。園児たちは「たくさん咲いてきれい!」と、大きく育ったひまわりを前に、満面の笑みを見せていました。

9月8日
音楽を通じて防犯意識の向上を
道警ふれあいコンサートin弟子屈



演奏を合わせて交通安全を呼び掛ける

北海道警察
音楽隊・カラー
ガード隊(鈴木
将人弟子屈警察
署長)による
「道警ふれあい
コンサートin
弟子屈」が9月
8日、摩周観光

文化センターで開催されました。
音楽隊による演奏やカラーガード隊によるパフォーマンスの合間には、特殊詐欺の注意喚起や交通安全の呼び掛けが行われました。締めくくりには弟子屈高校(伊東文人校長)吹奏楽部との合同演奏が披露され、約300人もの観客が来場したコンサートは大盛況のうちに幕を閉じました。

8月9日・30日・9月6日
摩周駅・川湯温泉駅に入線
豪華列車「ザ・ロイヤルエクスプレス」



出発する列車を見送る人々

東急(株)堀江正
博取締役社長)と
JR北海道(綿貫
泰之代表取締役
社長)が運行す
る、道東などを3
泊4日で周遊す
る豪華観光列車
「ザ・ロイヤルエ
クスプレス～北海
道クルーズトレ
イン～」が、8月
9日、30日、9
月6日の計3回、
摩周駅と川湯温
泉駅に入線し、
町民や鉄道ファン
が出迎えました。

川湯温泉駅では車内音楽を担当するヴァイオリニスト大迫淳英さんによる生演奏が披露され、列車は来駅者らに見送られながら網走駅へと出発しました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけられます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直)

8月20日
間近で見る迫力の演舞
鑑別獅子舞、仁多獅子舞が老人ホームを慰問



入所者利用者の方々には演舞を披露

鑑別獅子舞
(中澤高行代表)
による老人ホ
ーム偉和園(丹羽
好文園長)と特
別養護老人ホ
ーム摩周(高石和
恵施設長)への
合同慰問が8月
20日、同施設で行われました。本慰問は毎年、8月の弟子屈神社大祭に合わせて実施しています。

今年は37年振りに復活した仁多獅子舞(狩野秀喜代表)も加わり、総勢50人での披露となりました。それぞれの演舞を間近で鑑賞した入所者・利用者の皆さんからは、大きな拍手と歓声が上がりました。

8月17日～23日
釧路川から町を元気に
「くしろ川かわまちジャンボリーin弟子屈」開催



みんなと協力して橋をピカピカに

釧路川を通じて
地域活性化を
目指す「くしろ
川かわまちジャン
ボリーin弟子屈」(一
般社団法人くしろ
まちづくり研究所
渡辺栄重代表理事
主催)が8月17日
から23日まで、
釧路川ふれあい
広場で開催され
ました。

会場では、町民や北海道大学の院生が企画したスイカ割りや水合戦、川床で飲食する「川床Café&ビアガーデン」、町内の橋を清掃する「かわまちピカピカ大作戦」など数々のイベントが日替わりで行われ、釧路川にまつわる催しに参加者は盛り上がりを見せていました。

8月28日
たくさん歌って気分転換
偉和園利用者がカラオケを満喫



カラオケを楽しめる入所者の皆さん

老人ホーム
偉和園(丹羽
好文園長)が
8月28日、普
段外出機会の
少ない入所者
の方々を外と
の交流を持ち
リフレッシュ

できるように、「海と大地の恵み居酒屋でんでん」でカラオケを行いました。
この日は5人の入所者が参加し、それぞれ十八番の曲や、周りからリクエストされた曲などを歌いました。一緒に口ずさんだり、歌に合わせて手拍子をしたりと、皆さん思い思いの形でカラオケを楽しみました。

8月28日
子どもたちにお祭りの経験を
川湯保育園児向けにミニ縁日を企画



大きき口でとうもろこしをガブリ

近年、神社祭の出
店数減少によりお
祭りらしい経験が
できない子ども
たちのため、川
湯保育園児の保
護者4人が企画
したミニ縁日が
8月28日、川湯
福祉の家で行わ
れました。

ミニ縁日では、輪投げや缶倒し、千本くじなどのどこか懐かしさを感じる催しのほか、焼きそばや焼き鳥、とうもろこし、スイカといった縁日らしい食べ物がたくさん用意されました。
子どもたちにとって初めての縁日は、笑顔と歓声が溢れる素敵な1日となりました。